

肝切除術におけるICG蛍光法の有効性の検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	肝切除術におけるICG蛍光法の有効性の検討
倫理審査 受付番号	第3500号
研究期間	2020年 6月倫理審査承認日～2022年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に当院 肝・胆・脾外科を受診された、原発性肝腫瘍および結腸直腸癌肝転移の方 2016年 1月 1日～2020年 6月 1日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	（研究目的、意義） <目的> 肝切除の際に術中の肉眼観察のみでなく、腫瘍を蛍光で検出できる蛍光カメラシステムを用いることで、より正確に腫瘍の位置や切除範囲を確認できるとされていますが、その有効性についてまだ不明な部分があり、それを明らかにします。

＜意義＞

蛍光カメラ観察の併用で、手術の正確性が増すことが期待されます。

（研究の方法）

研究期間内に肝切除を受けられた患者さんの術前血液/画像検査、手術術式/時間/出血量、術後血液/画像検査などを術中蛍光カメラの使用有無ごとに観察し、手術の正確性や術後副作用の出現割合などを検証します。

（個人情報の取扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 肝・胆・膵外科
多田 正晴（研究責任者）

TEL | （平日 9 : 00～16 : 00） 0798-45-6582
（上記時間以外） 0798-45-6111